



(a) 傾斜配分: 合理的根拠がなく、イノベーションに対する評価を損なうものである

---

- 傾斜配分は1983年に導入されたが、その合理的意義はこれまで表明されていない。
- 傾斜配分は、1日薬価によって加算率を補正するものだが、投薬日数や市場規模を考慮せずにそのような補正が合理的な意義を持つとは考えられない。
- また、基準となる1日薬価が低く設定されているため、多くの場合、基準加算率を下回る加算率しか付与されていない。
  - 過去3年間で加算が付与された27品目のうち23品目で実際の加算率が基準加算率を下回っており、多くの場合、実際に付与された加算率は基準加算率の2分の1となっている。